液化石油ガス設備工事届（続紙）群馬県

|  |
| --- |
| 貯槽（貯蔵能力1,000kg未満）　 表 |

１　届出の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 液化石油ガス設備工事 | 新　設　・　変　更 |

２　液化石油ガス販売事業者（予定）

|  |  |
| --- | --- |
| 登録番号 | 事業所名称・販売所名称 |
|  |  |

３　工事従事者（設備工事に従事した者全員を記入すること）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 免状交付地 | 設備士免状ＮＯ | 直近の講習受講年月日 |
|  | 都道府県 |  | 年　　　月　　　日 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

４　供給設備

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 対　応　事　項 | | |
| (1) 保安距離の確保でき  ない場合の障壁等  第一種保安物件16.97m  バルク貯槽 1.50m  第二種保安物件11.31m  バルク貯槽 1.00m | 高　　さ | 壁　　厚 | 構　　造 |
|  |  |  |
| (2)埋設した場合の措置 | 貯槽の頂部 　　地盤面から 　　ｃｍ | | |
| 乾燥砂 ・ 水没 ・ 強制換気装置 　　　　　　　　　　　※ | | |
| (3)火気施設との距離 | ・水平距離（ 　　　　ｍ）  ・対象物件（ボイラー、焼却炉、燃焼機具、 　　　　　　※  　　　　　 電気設備、その他　　　　　　 ）  ・５ｍ未満の場合の措置  （ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| (4)火気距離（バルク） | ｍ（２ｍ以内の場合の措置　　　　　　　　　 ） | | |
| (5)安全弁の放出管開口  部の位置 | イ　 地盤面から 　　　　　　ｍ  ロ　 貯槽の頂部から　　　　 ｍ | | |
| (6)消火設備  散水設備 等 | イ 散水装置（能力 ）  ロ 消火栓 個 ※  ハ 消火器 個 | | |

液化石油ガス設備工事届（続紙）群馬県

|  |
| --- |
| 貯槽（貯蔵能力1,000kg未満） 裏 |

|  |  |
| --- | --- |
| (7)強制気化装置 | イ あり  ロ なし  ※イの場合型式認定合格証を添付すること |

５　ガス漏れ警報器設置状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設置年月日 | メーカー・型式・機種名等 | 設置個数 |
|  |  |  |

６　施工後の表示　（掲示したものと同様に記入すること）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工事事業者の氏名又は名称 | 連絡先 | 施工年月日又は工事番号 |
|  |  |  |

７　配管の状況

|  |  |
| --- | --- |
| (1) 配管がすべて露出  (2) すべて埋設又は一部埋設 | (2)の場合埋設管腐食防止措置 |
|  |

８ 添付書類

(1) 案内図

(2) 供給設備付近の配置図（施設等の内における貯蔵場所を示す見取図）

火気距離、保安距離、火気施設距離明記

(3) 貯槽の構造図

(4) 配管図（アイソメ図）

(5) 気密試験結果

(6) 写真 供給設備 （貯槽（表示）、貯槽周辺、集合配管、埋設配管、

バルブ及び配管の表示、消火設備等）

消費設備 （ガス漏れ警報装置）

(7) バルク貯槽の場合 特定設備検査合格証又は特定設備基準適合証の写し

注 ※印についてはバルク貯槽を使用する場合は記入不要